

関係各位

2007年3月22日

株式会社日本バイアウト研究所

## 日本のバイアウト・ファンドの推移 2006年12月末現在

株式会社日本バイアウト研究所（本社：東京都文京区、代表取締役：杉浦慶一）は、日本のバイアウト・ファンドの推移（2006年12月末現在）をこのほど公表した。本調査は、各種公表資料と各バイアウト・ファンド運営会社へのヒアリング調査の結果に基づき実施され、日本のバイアウト・ファンドおよびメザニン・ファンドの2006年12月末時点の設立状況が明らかにされた。

### 日本のバイアウト・ファンドの推移

図表1は、日本のバイアウト・ファンドの設立本数とコミットメント総額の推移を示している。1997年に日本初のバイアウト・ファンドが30億円で設立されてから2006年12月末までに110本のバイアウト・ファンドが設立され、コミットメント総額は1兆8,989億円に達した。2006年は22本のバイアウト・ファンドが設立され、前年までに設立されたファンドの追加設定額を含めた年間のコミットメント総額が初めて5,000億円を突破した。

図表1 日本のバイアウト・ファンドの推移（2006年12月末現在）

年	設立本数	コミットメント総額 (億円)
1997年	1	30
1998年	2	207
1999年	6	1,540
2000年	9	1,520
2001年	7	1,012
2002年	11	1,433
2003年	13	1,405
2004年	15	3,440
2005年	24	2,794
2006年	22	5,608
合計	110	18,989

（出所）日本バイアウト研究所。

### 日本のコーポレート・メザニン・ファンドの推移

日本のバイアウト案件に返済順位がシニア・ローンと普通株式の中間に位置する劣後ローンや優先株式などの形でファイナンスを提供するメザニン・ファンドの組成も増加している。2006年は4本の新規のメザニン・ファンドが組成されたが、前年までに設立された

ファンドの追加設定金額も含め合計 1,969 億円と過去最高の資金が集まった。その中でも、独立系 M&A アドバイザリー会社の GCA の 100%子会社メザニン (Mco) が組成したメザニン・ファンドが総額 687 億円と大きな割合を占めた。2006 年には、実際にメザニン・ファイナンスが活用された案件が複数登場しており、今後もファンド組成の動きは増加すると予想される。

**図表 2 日本のコーポレート・メザニン・ファンドの推移 (2006 年 12 月末現在)**

年	設立本数	コミットメント総額 (億円)
2004 年	2	131
2005 年	7	1,221
2006 年	4	1,969
合計	13	3,321

(出所) 日本バイアウト研究所。

#### 本調査における集計方法

本調査におけるバイアウト・ファンドの集計方法は、原則として、日本におけるバイアウト投資にフォーカスしたファンドのみをカウントしており、単一のファンドから世界各国の企業に投資を行うグローバル・ファンド、ファンド総額の大部分を日本以外のアジア地域も対象とするアジア・ファンド、投資枠の大部分を債権投資に重点を置いているファンド、地域企業再生ファンドは除外した。コミットメント金額の集計方法に関して、複数年にまたがりクロージングがなされたファンドについては、原則として、初期設定年に本数をカウントし、追加設定される度に追加年次に金額を加算した。なお、メザニン・ファンドについては、個別案件ごとに設立されたファンドも一部含まれている。

本件に関するお問い合わせは下記メールにてお願い致します。

株式会社日本バイアウト研究所  
jbori@jbo-research.com